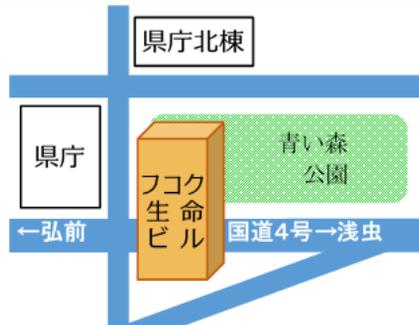


東青 みどりの通信

〒030-0861 青森市長島2-10-3 青森フコク生命ビル6階
TEL:017-734-9961 FAX:017-734-8305



※駐車場は県庁北棟地下をご利用ください。

東青の農業の魅力を伝えたい！～東青地区4Hクラブの農育プロジェクト～

農家になりたいこどもを増やしたい！

保育園での農育活動



青森市浦町保育園の園庭にえだまめ、ミニトマトなどの野菜苗を植え、野菜の生育の様子を観察してもらいました。

園児とえだまめの収穫を行ったほか、「げんきづくりパーティー」として、ミニトマト農家の仕事紹介やスイカ割りを楽しみました。また、ラインメール青森FCの選手とのミニゲームで盛り上がりました。

管内の保育園等へのアンケート調査（抜粋）

- ・こどもと農業の関わりは少ない。
- ・保育園等は農育活動に積極的だが労力や栽培ノウハウで苦勞している。

→**農業サイドからの働きかけ**が重要！

回答した49園（対象となる年長児862人）のうち

農家出身のこども	保育園等以外で農業体験をしているこども	農家になりたいこども
24人	47人	5人
2.8%	5.5%	0.6%

保育園等での農育活動の状況
(回答数49園)

活動なし 9%

活動あり 91%

今後も、こどもへの農育活動を続けていきたいと思っています！

消費者に東青の農業を知ってもらいたい！

JFL 試合会場での農産物プレゼント



ラインメール青森FCの試合会場で、来場者に農産物をプレゼントし**東青の農業をPR**しました！

5月19日(日)	ミニトマト苗 (青森市産) バジル苗 (外ヶ浜町産)
6月9日(日)	ミニトマト苗 (青森市産) ジニア苗 (外ヶ浜町産)
10月6日(日)	ミニトマト (青森市産) りんご (青森市浪岡産) ねぎ (外ヶ浜町産)

10月6日には来場者へのアンケートも行いました。

その結果、**農業をPRするための働きかけは世代によって変える必要がある**ことがわかりました。

この結果を活かし、消費者に東青の農業に親しんでもらう活動を続けていきます。

4Hクラブとは

農業青年が、農業技術の向上や仲間づくりを目的に結成したクラブです。東青4Hクラブでは、10名の会員が活動しています。

会員を募集しています！

少しでも活動に興味がある方は、農業普及振興室まで御連絡ください！

J A 青森母さんの焼き肉のたれの会

令和6年度青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰

「女性のチャレンジ賞」を受賞



J A 青森母さんの焼き肉のたれの会

代表：倉内操さん

設立：平成20年

構成：青森市鶴ヶ坂地域の農業者
8名

青森市浪岡産のりんごのほか、
県産食材を活用して**焼き肉のたれ**を商品化し、
10年以上のロングセラーとなっています。

同会は、**焼き肉のたれの製造**や消費者を対象とした**料理講習会**のほか、**地域の高齢者の生きが**づくりや**見守り**を目指して、**交流サロン「たんぽぽの会」**を開催し、簡単な体操やこけ玉づくりを実施する等、**地域共生社会の実現**に向けた身近なロールモデルとなっていることが評価され、今回の受賞につながりました。

受賞をきっかけに、会員は「ますます活動への活力がわいた。」と喜んでいました。



交流サロンでの活動の様子



J A 青森母さんの焼き肉のたれの会員と知事

元気なかつちゃの味自慢・腕自慢講座を開催しました！

東青の味加工産直ネットワークでは、**地元食材や地域資源**を活用した商品づくりやPR活動に取り組んでおり、**消費者との交流**を兼ねて**調理実習**を開催しています。

焼肉のたれを使った簡単おかずとがっばら餅

期日：12月12日（木）

講師：J A 青森母さんの焼き肉のたれの会 倉内操さん
J A 青森げんき畑 徳差知子さん、佐藤智子さん

焼肉のたれを使ったおかずは、調味は焼肉のたれのみ！という簡単レシピで、失敗もなくおいしく作れると大好評でした。

がっばら餅は、昔よく食べたので作るのを楽しみにして参加したという方が多く、なつかしい、家でもまた作りたいといった声が聞かれました。



講師から作り方のコツを学ぶ

ガトーショコラ

期日：12月19日（木）

講師：浪岡アップル友の会 西塚貴代子さん

難しい工程はなく、本格的な仕上がりで、ケーキが焼き上がったときには参加者から歓声があがりました！



熱心にメモを取る参加者



ケーキの焼き上がりを確認

20代の女性からお孫さんにケーキを作ってあげたい！という男性まで多くの方が参加し、どの方も真剣に取り組んでいました。

調理実習後には試食をしながら講師に質問をしたり、感想を言い合ったりと、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

りんご栽培に交信攪乱剤「コンフューザーR」の活用が広がる

近年、夏場の高温干ばつ傾向と一部の殺虫剤の効力低下で、りんご生産者は害虫防除に苦慮しています。

J A 青森りんご部会、青森市浪岡地区りんご共同防除組合連絡協議会（以下、共防連）では、交信攪乱剤を活用した地域ぐるみでの総合防除に約20年前から取り組んでいます。

農業普及振興室ではJ A 青森りんご部会、共防連と共催で「コンフューザーR」取り付け講習会を開催し、「コンフューザーR」の特性と取付方法について説明するとともに、継続して使用すると殺虫剤の使用回数の削減につながることを強調しました。

県の交信攪乱剤購入補助事業の活用もあり、青森市における令和6年の「コンフューザーR」の設置面積は前年比1.5倍の約370ヘクタールまで拡大し、交信攪乱剤を活用した害虫防除対策が進んでいます。



「コンフューザーR」取り付け講習会

コンフューザーRとは

交信攪乱剤といい、特定の害虫の合成性フェロモンを園地に充満させ、メス・オス間の交尾率を下げ、害虫密度を抑えて被害を低減させる効果があります。

○メリット

- ・農薬残留の心配がない。
- ・効果が約5ヶ月持続する。

×デメリット

- ・直接害虫を殺さないので効果が実感しにくい。



ディスペンサーを枝に巻き付けるなどして設置します。

「青天の霹靂」・「はれわたり」プロジェクトチームの活動

「青天の霹靂」・「はれわたり」の良食味安定生産に向けて、管内の指導機関や市町村、団体等による生産指導プロジェクトチームを設置し、一丸となってきめ細かな栽培指導を実施しています。

管内では「青天の霹靂」は5地点、「はれわたり」は2地点の技術普及拠点ほを設置し、生育状況や今後の対応等をプロジェクトチームで共有しながら、育苗講習会、追肥講習会、刈取講習会を開催しました。

今年は特に、節水しながら地温を下げる「飽水管理」や適期刈取などを周知してきました。

今年の生育・収穫状況

昨年ほどではないものの高温傾向であったため、生育ステージや刈取適期が例年より早まりました。

収量は地域や個人によりバラツキが大きく平年収量にはわずかに届きませんでした。が、昨年のような白未熟粒や胴割粒による落等は少なく、品質は良好でした。

「青天の霹靂」



さっぱり系

うまみとあまみ、粘りとキレのバランスが魅力。冷めてもおいしい！

「はれわたり」



もっちり系

やわらかく滑らかな口当たり。口の中にあまみが広がります。

プロジェクトチーム
現地検討会

「青天の霹靂」
現地講習会

年度末には「青天の霹靂」の生産者に対して、栽培履歴を基に生産者ごとのカルテを作成し、翌年度の栽培方針などのアドバイスを行うこととしています。



東青地域の特定家畜伝染病防疫対策への取組



高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病の防疫体制強化に向け、農業普及振興室では、関係機関で情報共有を図るとともに、防疫対策に関する各種研修会を開催しました。

車両消毒を行う 消毒ポイントの勉強会



消毒ポイント勉強会では車両消毒の実演、集合する施設の運営研修では施設の運営作業など、実際の防疫業務に近い形で各担当者の役割について演習を行いました。

農場で防疫作業を行う作業者が 集合する施設の運営研修



殺処分された鶏などの埋却を担 当する業者向けの埋却研修会



農場ごとに定められた防疫計画（埋却計画）について業者間で意見交換を行い、計画の課題を検討しました。

高病原性鳥インフルエンザは今年度、過去最も多い発生件数となった令和4年シーズンに匹敵するペースで発生しています。引き続き関係者が一丸となって防疫対策を進めていきます。



鶏などを飼っている方へ

急激な死亡数の増加など、異常を発見した場合は、**直ちにつがる広域家畜保健衛生所（0173-42-2276）**にご連絡ください。



地域計画の作成作業大詰め

～管内全市町村で地域計画案説明会開催される！～



地域計画とは

農業者や地域のみなさんの話し合いで作る将来の農地利用の姿を明確化した地域農業の設計図です。

令和7年3月までに作成することが求められ、その内容には10年後を見据えた

- ①地域の農業の現状や課題と将来のあり方、
- ②農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標と目標達成のための措置（農用地集積や多様な経営体の確保・育成の取組等）などの現行の人・農地プランの項目に加え、**目標地図**が追加されます。

現在、東青管内5市町村では40地域において地域計画の作成作業が進められています。

各市町村では、意向調査の実施とその取りまとめ、各地区での話し合いとその結果の公表などを進めており、11月末～12月末にかけて蓬田村を皮切りに管内全市町村で地域計画案の説明会が開催されました。

1月以降は、農業委員会総会での審議や関係機関への意見聴取等を経て、地域計画案の公告・縦覧、地域計画の策定・公表と手続きが進められる予定です。

目標地図とは

10年後誰がどの農地を耕作するのか、耕作できない農地はどこかを地図にしたものです。



目標地図の素案作成例



農業普及振興室としても引き続き可能な限り計画作成の

お手伝いをさせていただければと考えていますので、よろしくお願いいたします。